

三重県における地域医療圏ごとの病院 BCP 策定

三重県病院協会理事長 竹田 寛

1) 災害対策の重要性

年々激化する豪雨や台風、今後 30 年のうちに 70%以上の確率で発生するとされる南海トラフ地震などにより、三重県では大規模災害の発生が強く危惧されている。

いつ、どこで、どのような災害が発生しても、継続して必要な医療が提供できるように、各医療機関や介護施設などにおいては、災害発生時における事業継続計画（BCP: Business continuity planning）を策定することが要求されている。

2) 三重県における病院 BCP 作成の現状

県内には、現在 93 の病院があるが、これらの病院における BCP 策定は、災害拠点病院を除き、余り進んでいない（令和元年 9 月末現在、策定済み 30 病院）。

しかも策定の済んだ病院においても、各施設が独自に作成し他の医療機関との連携が考慮されていないため、実際に災害が発生した場合の実効性が疑問視される。

3) 三重県における地域医療圏ごとの病院 BCP 作成の試み

病院の BCP を作成する際、その病院の規模や所属する医療圏における役割に応じて BCP の内容を調整し、想定される災害の規模や状況に応じて他の医療機関との協力体制や役割分担を明確化することにより、真に地域医療を継続することのできる防災・減災計画が出来上がるものと思われる。

そこで三重県病院協会では、災害対策がご専門の三重大学工学部川口淳准教授のご指導のもと、三重県や三重県医師会などと協力して、県内 8 医療圏それぞれにおいて、所属するすべての病院が協力して病院 BCP を作成する。

三重県における 8 医療地区

- 1) 桑員（桑名・いなべ）地区
- 2) 三泗（四日市）地区
- 3) 鈴亀（鈴鹿・亀山）地区
- 4) 津（津・久居）地区
- 5) 伊賀（伊賀・名張）地区
- 6) 松阪地区
- 7) 伊勢志摩（伊勢・志摩）地区
- 8) 東紀州（紀北・紀南）地区



医療施設の規模による役割分担

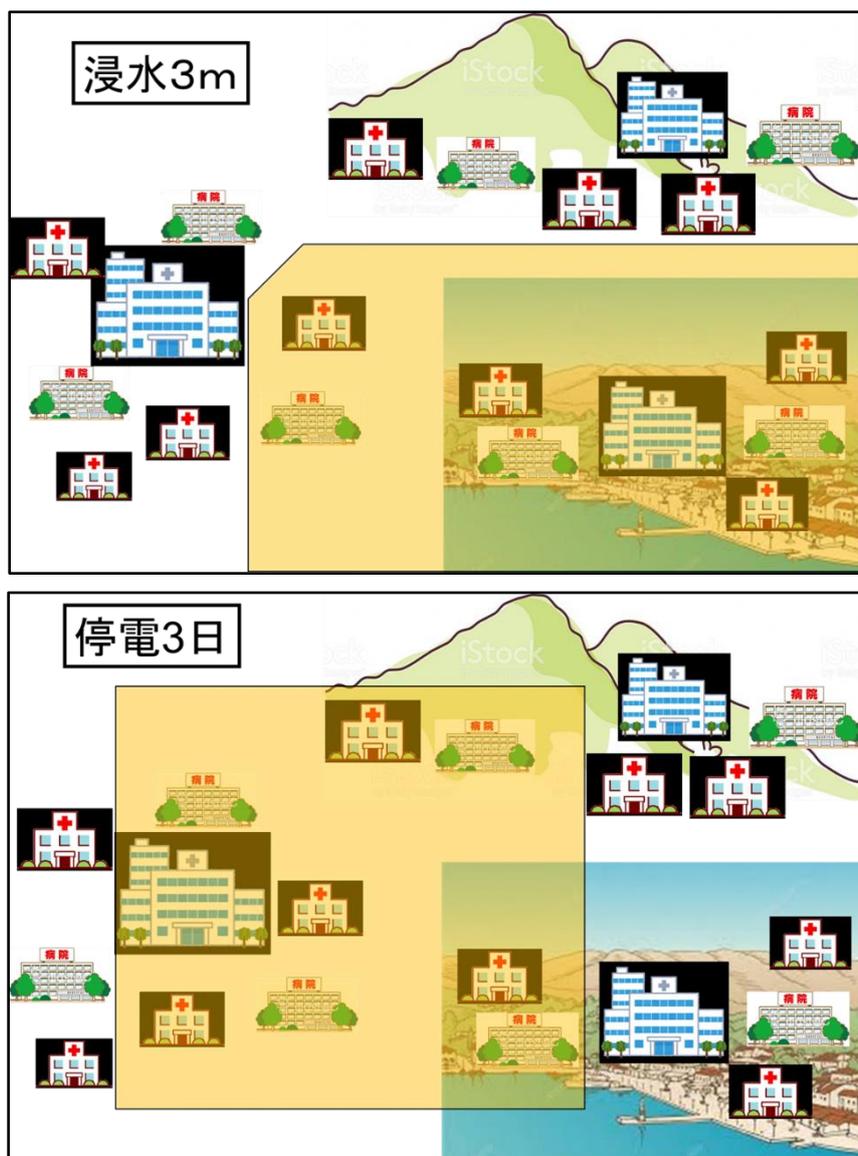
	グレード3 総合病院 災害拠点病院	入院患者を守る 他院からの入院患者を受け入れる 傷病者に対応する
	グレード2 中規模病院 専門病院	入院患者を守る 傷病者に対応する
	グレード1 小規模病院 専門病院	入院患者と職員の命を守る

県内8医療圏における各医療機関のBCP策定状況と役割分担(案)

	グレード3 入院患者を守るとともに、 他院からの入院患者を受け入れ、 傷病者にも対応する(※注1)	グレード2 入院患者を守るとともに、 傷病者にも対応する	グレード1 入院患者と職員の命を守る
桑員	桑名市総合医療センター いなべ総合病院 青木記念病院	日下病院、ヨナハ総合病院、 ヨナハ産婦人科小児科病院、 山崎病院、 桑名病院 、 もりえい病院	大安病院、北勢病院、 東員病院、大仲さつき病院 多度あやめ病院 、長島中央 病院
三泗	県立総合医療センター 市立四日市病院 四日市羽津医療センター 菰野厚生病院	主体会病院、小山田温泉記 念病院 富田浜病院、四日市消化器 病センター、山中胃腸科病院、 みたき総合病院	石田胃腸科病院、 四日市徳洲会病院、 総合診療センターひなが、 水沢病院
鈴亀	鈴鹿中央総合病院 鈴鹿回生病院 亀山市立医療センター	村瀬病院、高木病院、塩川 病院	鈴鹿厚生病院、鈴鹿さくら 病院、 白子ウィメンズホスピタル、 鈴鹿病院、亀山回生病院、 田中病院
津	三重大学医学部附属病院 三重中央医療センター	永井病院、大門病院、 遠山 病院 、 武内病院 、吉田クリニック、 岩崎病院、津生協病院、 榑原温泉病院、若葉病院、 三重病院、※一志病院	第二岩崎病院、 倉本内科病 院 、 久居病院 、井上内科病院、 榑原病院、榑原白鳳病院、 七栗記念病院、 こころの医療センター 、 子ども心身発達医療セン ター
伊賀	上野総合市民病院 名張市立病院	岡渡総合病院	上野病院、 森川病院 、寺田 病院
松阪	松阪市民病院 済生会松阪総合病院 松阪中央総合病院	三重ハートセンター、 大台厚生病院	桜木記念病院、花の丘病院、 南勢病院 、松阪厚生病院、 済生会明和病院、玉城病院
伊勢 志摩	伊勢赤十字病院 県立志摩病院 市立伊勢総合病院	町立南伊勢病院 、伊勢田中 病院、 伊勢慶友病院、志摩市民病 院、	豊和病院
東紀州	尾鷲総合病院 紀南病院	長島回生病院	第一病院 、熊野病院

赤字はBCP策定済み医療機関、□で囲んだ医療機関は災害拠点病院
(※注1)グレード区分の内容については最低限の基準となりますが、
今後、有識者等との協議により変更される可能性があります。

被害状況の想定



各医療機関においては

- 1) 各施設の現状をありのままに認識し災害の程度に応じた対策を検討する
- 2) 想定される様々な被害状況に応じて有機的な役割分担を果たす
- 3) さらなる施設、設備の充実を図り、より進んだ災害対策を実現する

各医療圏における BCP 策定の進捗状況

桑員地区

今までに BCP 作成のための講習会やワークショップを 4 回開催
(2019 年 5 月 20 日、7 月 30 日、10 月 11 日、2020 年 1 月 14 日)
今年度中に地区内に所属する医療機関の BCP 策定を終了する予定



桑員地区 BCP 作成委員会の様子 (2019 年 10 月 11 日)

伊賀地区

2019 年 10 月 15 日、2020 年 1 月 22 日に BCP 策定委員会を開催
3 月 26 日第 3 回委員会を予定

東紀州地区

3 月 27 日、第 1 回 BCP 策定委員会を開催予定

来年度の目標

- 1) 県内の他の医療圏へ拡大
- 2) 診療所、介護施設、行政などとの協力体制の構築